

環 境 白 書

【平成27年度報告】

沖 縄 県

環境白書の発行に当たって

沖縄は、亜熱帯海洋性気候の温暖な気候に恵まれ、美しいサンゴ礁が発達した青い海と緑豊かな160の島々から構成されている島しょ県です。

この豊かな自然環境を守り、持続可能な方法で利用していくことが本県の重要な課題となっており、私たちは、自然からの恵みを子や孫の世代が享受できるように考え、行動していかなければなりません。

このため、沖縄県としては、「赤土等流出防止対策の推進」、「廃棄物・リサイクル対策の推進」、「サンゴ礁の保全」、「生物多様性の保全」、「地球温暖化対策の推進」、「基地から派生する環境問題の解決促進」に重点を置いた施策を実施しているところであります。

また、沖縄県では、「地球温暖化対策」をはじめ、「自然環境の再生」や「緑化推進」の取組を充実させることを目的として、平成28年度から新たに「環境再生課」を設置しました。これまでの自然環境を保全するための取組に加え、失われた自然環境を再生するための取組についても強化することとしております。

さて、昨年9月15日には「やんばる国立公園」が指定されました。やんばる地域は、世界自然遺産の候補地となっており、今回の指定は登録に向けて一歩前進したものと認識しております。引き続き、環境省をはじめとする関係機関、やんばる3村（国頭村、大宜味村、東村）及び同じく候補地となっている竹富町（西表島）とより一層連携を深め、自然環境の保全と適正な利用の両立を目指してまいります。

今後とも、沖縄21世紀ビジョンの基本理念である“時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ”の実現に向けて、沖縄県の自然環境や生活環境の保全に取り組む所存であります。

本書は、平成27年度の本県における環境の現状と実施した施策についてまとめたものです。皆様の環境への関心と理解をより深め、環境保全活動の一助となることを心から願っております。

平成29年3月

沖縄県知事 翁長雄志